

卒業式式辞

春の息吹が感じられる今日の佳き日、ご来賓ならびに多数の保護者の皆様をお迎えして、ここに令和4年度第55回卒業式および第26回修了式を挙行できますことは、本校教職員ならびに在校生一同の大きな喜びであり、ご臨席の皆様方に対し、心から御礼申し上げます。

本年度の本科卒業生は機械工学科36名、電気情報工学科41名、環境都市工学科42名、建築学科35名、合計154名であります。専攻科では、36名が修了し、「学士(工学)」の学位を授与されました。この中には留学生として、モンゴルからのナムカさんとエーギーさんが含まれます。合わせて190名の若者が、本日、この学舎から巣立っていくこととなります。

卒業生・修了生の皆さん、ならびに保護者の皆様、ご卒業・修了、おめでとうございます。また、保護者の方々をはじめ、これまで彼らを支え、励まし続けていただいた皆様に対し、お祝いを申し上げますとともに、改めてここに感謝の意を表したいと存じます。

さて、皆さんは中学校卒業後、本校において工学を学ぶ道を選択されました。理工学教育と実践教育をバランスさせた高専教育は現在高く評価され、国内外から注目されているところですが、皆さんは同世代の若者に先んじて本校の専門的な学問に触れ、短期間で多くのことを学ばれました。基礎から応用までたくさんの学ぶべきことがあり、勉強が大変だと思うこともあったのではないかと思います。さらに皆さんは入学してから今まで、スポーツ、音楽、芸術、ロボコンなどのコンクール、学生会など、いろいろな所で頑張ったり、楽しんだり、あるいはつらい思いをしたり、いろいろな経験をしてここまでこられたと思います。

そして今日、皆さんは、これまでの努力や積み上げた実績の成果として、卒業証書・修了証書を手に入れました。これは呉高専での学生時代の集大成であり、皆さんが頑張った証です。皆さんにはこれまでの努力に対して、自信と誇りを持って頂きたいと思います。私からは、ここまで頑張ってきた皆さんを心から祝福します。

現在、世界は混迷の度を深めています。数年前には予想もつかなかったことが次々に起こり、我々はこれまでに構築した国際平和や社会・経済構造の脆弱さと言ったものを目の当たりにしています。我々の社会は、想定外の事象に対してあまりに弱く、大きな影響を被ってしまうということを、今まさに経験しています。

私はこのようなときこそ、この呉高専で学んだ皆さんの力が必要とされていると思っています。社会に希望を見出しにくい今こそ、今日卒業証書を手に入れた皆さんひとり一人に期待がかかっています。皆さんは高専でそれぞれ違う経験をしていますので、できること、すべきことは人によ

ってそれぞれ違うと思います。皆さんには、それぞれが皆違うということ、ひとり一人が他の人とは違う重要な存在ということ強く意識して頂き、それぞれが志を高く持って、できること、すべきことをしてほしいと思っています。そして、そのとき本校の合言葉である、「Realize Your Dream!」を忘れないでほしいと思います。この言葉をこれまでは「君の未来を共に創る」と説明していたと思いますが、皆さんは高専での学びを終えた、一人前の存在です。これからは皆さん自身が主演となり「夢の実現」を考えてほしいと思います。

この「夢の実現」という言葉に関して、私自身も真摯に向き合い、自分に当てはめ、できること、すべきことを模索しています。先日、広島大学と大学院入試に関する協定に調印しましたが、進むべき方向に一步前進できた気がしました。実際に動き始めると想定外の事が起こり、根本から考え直す状況にも直面しましたが、大局を見て、誰もが喜ぶことであると確信できれば、方向を見間違ふことはないと思っています。

今の社会で夢を抱くことは非常に難しいと思います。皆さんの中には既に夢を持って夢に向かう途中の人がいるかもしれませんが、まだいろいろな事を模索しながら不安も抱えている人もいるのではないのでしょうか。私自身もこれまでずっと模索し続け、ここまできたような気がします。明確な夢を持つことは難しくても、全体を確認しながら、少し上のターゲットを決め、そこに向かって動くことはできるかもしれません。そのときには、自分が動くことで喜ぶ人がいると信じる事が大事だと思っています。人が喜ぶ顔を想像すれば、きっと力が湧いてくると思います。

最後に、呉高専は再来年度に創立 60 周年を迎えますが、本年度は高専機構として高専創立 60 周年にあたります。本日、記念の植樹式を行い花水木の苗木を植える予定となっています。私からは皆さんへの祝福の気持ちを込めて、植樹に臨みたいと思います。皆さんにとっては、将来この苗木が、まさに新たに羽ばたく今の気持ちを思い出す切掛になるかもしれません。呉高専は長い歴史を持つ伝統ある学校であり、皆さんには社会で活躍している多くの先輩がいて、今ともに巣立つ仲間がいて、さらに後輩がこれに続き、将来も助け合うことができます。皆さんには呉高専の卒業生・修了生としての自信と誇りを忘れず、己の可能性を信じ、助け合い、夢の実現に向けて羽ばたいてほしいと思います。皆さんの輝かしい未来を祈念して、式辞といたします。

令和5年3月18日

呉工業高等専門学校長

餘利野直人